

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第1号 畜産

発行日 平成27年 3月19日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

◆ 草地 除染等、草地更新をされた方がたくさんいらっしゃると思います。収量、品質を確保するため、施肥、雑草対策を確実に行いましょう。

草地

1 施肥管理

1 番草の収量確保のため、圃場へトラクタが入れるようになったら、速やかに施肥を行いましょう。施肥量は表を目安にしてください。なお、除染を行った新播草地は、土壌から牧草への放射性セシウムの移行を抑制するため、必ずカリウムの施肥を行いましょう。

表 牧草地の施肥目安(経年草地)

区分	草地種類	施肥時期	10aあたり施肥量(kg)		
			窒素	リン酸	カリウム
採草地	オーチャードグラス主体	早春刈取後	10	5	10
		(最終刈後除く)	5	2.5	5
	チモシー主体	早春刈取後	*10	5	10
		(最終刈後除く)	5	2.5	5
放牧地		早春(牧草ほう芽期)	6	3	3
		夏期(7月)	6	3	3
	スプリングフラッシュ抑制	初夏(6月中旬)	6	3	3
		夏期(8月上旬)	6	3	3

「岩手県牧草・飼料作物生産利用指針」より

*チモシー主体草地の窒素の施肥量について、利用初年度は倒伏防止の観点から、5kg/10a程度に抑える

2 雑草対策

(1) 掃除刈り

ハコベ、ナズナ、ヒメオドリコソウなど、一年生、越年性雑草が目立つ場合には、掃除刈りが有効です。牧草の草丈が10cm程度、雑草の草丈が20~30cm程度の時期を目安に、刈高15cm程度の刈り取りをします(図参照)。新播牧草が引き抜かれないよう、刈刃はよく研磨しておきます。引き抜かれるとそこが裸地になり、雑草が侵入しやすくなります。



図 掃除刈りのイメージ

(2) 除草剤散布

ギシギシ(右写真)が多い場合、掃除刈りだけでは抑草が困難となります。ハーモニー75DF水和剤やアージラン液剤で除草します。植生(クローバーの有無)や経年、新播の別により使用薬剤や散布量が異なりますので、最新の登録情報を確認してください。



写真 草地に侵入するギシギシ

次号は4月30日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

中央農業改良普及センター県域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。